令和6年度対象

榛東村教育委員会
事務点検・評価報告書

令和7年8月
榛東村教育委員会

1.はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、平成20年4月から施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和6年度の教育委員会事務の点検及び評価の結果について報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）○

第二十六条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2.点検及び評価の対象

評価の対象の事務事業は、前年度分を対象としたもので、今年度は令和6年度に執行した事業を対象として評価を行いました。

3.内部評価

Ⅰ.学校教育等に関する事務事業

①　庶務・学校教育における事業

1　教育委員会の開催

合議制の執行機関として、その役割と責任を果たすために定例委員会を12回、臨時会を7回開催した。

2　学校（園）訪問

小中学校や幼稚園を訪問して、教育課程の適切な実施や学習指導、その他学校教育に関する指導・助言を行った。

3 学校施設等整備事業

・ 南小学校長寿命化改修工事

4 校園長会議の開催

小中学校長・幼稚園長の会議を年間 10 回開催。また、必要に応じ随時開催した。

5 榛東村教育研究所研究部

教育研究所研究部内に設置した「授業改革推進協議会」にて、各校における公開授業及び授業研究を中心とした研修を実施した。

6 ぐんぐんスクール・ぐんぐん土曜塾・ぐんぐんサマー塾

児童・生徒への基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、学習への興味・関心がもてるようにするため、小中学校の全学年を対象に学習する場を提供し、個別指導を行った。

7 人権(同和)教育講演会

教育講演会を通して、人権(同和)教育に必要な技能と資質の向上を図った。

8 人権(同和)教育公開授業(保育)研究会

榛東中学校を研究校として公開授業研究会を実施するとともに、各校園の人権(同和)教育の取組を交流し、充実及び啓発活動の推進を図った。

9 幼稚園・保育園・こども園・小学校及び小学校・中学校情報交換会

小学校1年及び中学校1年の児童生徒にかかわる諸課題や支援方法について情報交換及び協議することにより、入学時において校種間のスムーズな移行が図れるようにした。

10 幼稚園・保育園・こども園・小学校連携協議会

幼稚園・小学校の教職員とこども園・保育園の保育教諭・保育士が、小学校入学時における子どもの成長の様子の受け止め方や指導の在り方について相互理解と連携強化を図った。

11 いじめ防止子ども会議

中学校区等の小学生・中学生の代表が、各校の実践発表を行うとともに、子どもたちに教育委員及び各校の保護者も交えた協議を行い、いじめをなくすために子どもたちができることについて協議をした。

12 村立幼稚園の 1 園化

村立幼稚園の園児数の減少を受け、幼稚園教育の一層の充実を図るために、村立幼稚園を統合し新たな幼稚園を開園する方向性が決定した。これに伴い、令和6年度末で北幼稚園及び南幼稚園を閉園した。

② 学校給食センターにおける事業

1 給食業務

学校給食法の目的及び目標に基づき、幼稚園児、小・中学校の児童生徒及び教職員等への完全給食を実施。調理・配送業務等を民間委託とし、作業工程表に基づき調理・配送・洗浄作業を実施し、作業効率の改善を図った。

異物混入を予防するため、食品の検品・洗浄作業に注意を払い、また、施設及び調理器具の総点検を実施し、必要に応じて修繕・買換えを行った。

食中毒を防止するため、調理器具等の洗浄・消毒、調理品の温度管理、調理員の手洗いを徹底。また、各種衛生検査を実施し、職員に対して研修を行うことで、衛生管理についての意識を高めた。

栄養士による給食時訪問や家庭科の授業を通して、食に関する様々な知識や情報を提供した。また、地域の特色を生かした郷土食や、季節の行事に由来した行事食等を献立に取り入れることで、日本の伝統的な食文化を大切にする意識を醸成するとともに食に対する関心を高められるよう努めた。

Ⅱ.社会教育に関する事務事業

③ 生涯学習における事業

1 社会教育委員会議等

社会教育委員会議では、令和5年度に実施した視察のまとめや、過去に作成した防災中枢機能施設、榛東村の社会教育委員のホームページ作成に関して協議や意見聴取を行った。

研修会等への参加については、群馬県新任社会教育委員研修会、中部地区社会教育委員研究集会及び群馬県社会教育研究大会関東甲信越静社会教育研究大会、講演や他の自治体の事例発表をとおして職務遂行に必要な知識・技術等の習得に努めた。

2 村の音楽会の開催

地域ふれあい「村の音楽会」として、陸上自衛隊第12音楽隊、榛東中学校吹奏楽部の演奏による音楽会を令和6年12月1日(日)に開催した。352名(主催者、来賓者含む)が来場した。

3 家庭教育支援事業

令和６年９月２９日(日)に開催した「しんとうママフェス」は楽器演奏、手作り品の販

売など親子で楽しめる内容を工夫し、住民生活課（榛東村環境美化推進協議会）主催のエコフェスタと同時開催で実施した。「通園・通学バッグ作り」は子育て中のお母さん同士の交流・情報交換の場、仲間作りの場となることを目的として実施した。

4 放課後子ども教室（学校・家庭・地域連携協力推進事業）

放課後の子どもたちの時間を、より豊かな体験の場と充実させる目的で実施している事業である。小学校のプレイルームにて、有償ボランティア「放課後活動サポーター」の見守りの中、宿題や昔あそび、工作等を行う活動を行っている。

- 対象学年（参加人数） 1・2年生（145名）
- 実施回数 各校・学年 8回（全32回）

学校休業日には、耳飾り館等で「休日わくわく教室」を4回、実施し、太々神楽の保存会による、神楽の実演・神楽面作りといった伝統芸能を取り入れた活動が好評であった。

5 社会人権教育

憲法や教育基本法の精神と人権教育推進協議会の答申に沿った、基本的人権を尊重する平等の原則に基づき、人間の尊厳性についての自覚を深め、人権問題を正しく理解・認識することに努めた。人と人の間に存在する「偏見・差別意識」を取り除き、これを解消するため本村の実情に即した施策・計画を策定し、学校・社会・家庭教育の連携を深め人権を習慣・文化として日常生活に定着させるように人権教育を積極的に推進した。令和6年度の主な活動は以下のとおりである。

- 人権教育推進協議会の開催
- 6集会所において教育集会所指導事業が行われた。各教室は長岡集会所では詩吟教室、伝統芸能（獅子舞）、八木節教室、歌謡（カラオケ）教室、萱場集会所では民踊教室、笹熊集会所ではフォークダンス教室、コーラス教室、下ノ前集会所では歌謡教室、手芸教室、料理教室、民謡教室、上野集会所ではカラオケ教室、おどり教室、レクダンス教室、写真教室が開かれた。
- 啓発活動として、広報ひかりの発行（年2回）、人権作文集発行、人権ポスター・人権標語の募集、展示を行った。
- 夏休み人権ビデオ視聴会は、各自治会に開催希望を伺い、13の自治会にて行った。
- 教育集会所学習成果合同発表会・人権講演会（住民生活課主管事業）

各集会所の学習成果を発表する機会として、令和7年3月2日（日）に南部コミュニティセンターで開催した。

6 成人の日の記念行事

榛東村在住の令和6年4月2日から令和7年4月1日に20歳になられる方を対象に「榛東村二十歳のお祝い」と称し、村として記念行事を開催した。

7 防災中枢機能施設整備事業

災害に強いまちづくりを進めるため、中央公民館（中央コミュニティセンター）と学校給食センターの両方の機能を併せ持つ防災機能を高めた「防災中枢機能施設」に係る主な業務を実施した。建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各工事を完了し引渡しを受けた。また、外構工事に着手した。

8 社会体育施設整備事業【しんとう総合グラウンドテニスコート人工芝補修工事】

しんとう総合グラウンドテニスコートＡ面の人工芝が摩耗したため、人工芝の張替えを行った。

④ 中央公民館における事業

1 教室の開催

地域住民の学習ニーズに応え、生きがい作りや住民間の交流を図るため、以下の各教室を開催した。

- ウクレレ教室（初心者）
- リズム体操教室
- 実践書道教室
- 囲碁・将棋教室
- バルーンアート教室

2 図書活動

- 利用者の意見を反映させた図書の購入
- お話会の実施（夏休みおはなし会）
- 図書室利用状況

  大人 1,271 人（貸出冊数 2,788） 子ども 703 人（貸出冊数 2,297）

⑤ 南部コミュニティセンターにおける事業

1 教室・催事等の開催

地域住民の学習ニーズに応え、生きがい作りや住民間の交流を図るため、以下の教室・催事等を開催した。

- 和太鼓教室
- クレイアート教室
- おもしろ科学教室

2 図書活動

- 利用者の意見を反映させた図書の購入

・ 図書室利用状況

大人 1,412 人（貸出冊数 1,865） 子ども 854 人（貸出冊数 3,590）

3 図書貸出システム導入

・ 図書貸出システムを導入し、貸出時の窓口業務が簡素化した。

・ 図書の検索などが可能になるだけでなく、図書の導入や管理が容易となった。

⑥ 文化財・耳飾り館における事業

1 文化財事業（一般）

・ 無形民俗文化財保存団体への活動支援・補助金交付を7団体に行った。

2 文化財事業（埋蔵）

・ 埋蔵文化財調整事務を行った。

埋蔵文化財包蔵地における開発行為に先立ち、文化財保護法（第 93 条・第 94 条）に基づいた指導・調整を行った。

・ 包蔵地内における開発行為による届出件数 16 件、慎重工事 8件、工事立会 8件

3 耳飾り館事業

地域住民が来館する契機となり、また利用者が地域の歴史に興味・関心を深めるよう、以下の主な活動・講座・教室等を実施した。

・ 秋季企画展「榛東村長久保古墳群資料展」9月 14 日から 11 月 30 日まで

榛東村教育委員会・駒澤大学 長久保古墳群活用事業『知ろう！探ろう！古墳時代の榛東村～長久保古墳群の調査を通して～』講演会関連展示

・ 冬季企画展「昔の暮らし展」2月 14 日から4月 13 日まで

・ ロビー展示「縄文土器を触ってみよう」通年

・ 体験学習コーナー ウッドビーズのアクセサリー、お守りペンダント、勾玉、土製耳飾り 令和6年度参加者数 146 人（令和5年度参加者数 232 人）

・ 夏休み体験イベント 参加者計 52 人

カラフルまがたま作り 7月 27 日（2回実施）、8月3日、8月 11 日

縄文風ポシェット作り 7月 28 日、8月8日

オリジナル手ぬぐい作り 8月3日、8月 21 日

プラ板キーホルダー作り 8月8日、8月 21 日

・ 秋冬の体験イベント 参加者計 30 人

カラフルまがたま作り 11 月9日（2回実施）、11 月 24 日、12 月 26 日

縄文風ポシェット作り 12 月 15 日

オリジナル手ぬぐい作り 11 月 17 日、12 月 26 日

コラージュで遊ぼう 11 月 24 日、12 月 15 日

・ 縄文ワークショップ 参加者計　31 人

黒曜石の鏃づくり 講師 大工原豊 氏 11 月 23 日

・ 耳飾り館ミュージアムコンサート 参加者 34 人　令和7年3月 20 日 14 時から

出演 一般社団法人 カメラータ慈音 小田原由美 真塩裕子　山田知世 小野恵美

・ しんとう・ふるさと歴史講座 参加者計 98 人

４月 20 日　近代化遺産の継承にむけて　　参加者 18 名

群馬県文化財保護審議会審議委員 村田敬一 氏

２月 16 日　地理院地図で考える古代関東平野北部の開発　　参加者 26 名

火山灰考古学研究所 早田勉 氏

３月９日　６世紀の葬送儀礼と土器　　参加者 18 名

駒澤大学文学部歴史学科考古専攻 准教授 藤野一之 氏

３月 15 日　続・土製耳飾りのもんよう　　参加者 21 名

榛東村教育委員会事務局生涯学習課 課長補佐 角田祥子 氏

３月 29 日　群馬県内の温泉と文化「群馬は温泉パラダイス」　参加者 15 名

温泉ライター 小暮淳 氏

・　榛東村教育委員会・駒澤大学 長久保古墳群活用事業

『知ろう！探ろう！古墳時代の榛東村～長久保古墳群の調査を通して～』講演会

10 月5日　会場:南部コミュニティセンター 参加者 85 名

登壇者:寺前直人氏(駒澤大学文学部教授)、藤野一之氏(駒澤大学文学部准教授)、迫田睦生(公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団)、駒澤大学学生(駒澤大学文学部歴史学科考古学専攻)、

・　第１回行田古墳フェスティバル（主催：行田古墳フェスティバル実行委員会）

10 月 20 日　榛東村ブース出展

村及び耳飾り館 PR：観光パンフレット、耳飾り館パンフレット配布：280 部配布

耳飾り館オリジナルクリアファイルの販売（１部 300 円）：７部販売

耳飾り館オリジナル缶バッジの無料配布（主にこども対象）：93 個配布

縄文時代装身具レプリカ（耳飾り、首飾り、腕輪等）の触れる展示

古墳 PR タイムでの榛東村の概要等の紹介

村内古墳の PR：高塚古墳リーフレット、長久保古墳群パンフレット（駒澤大学制作）の配布

・　耳飾り館 33 周年記念イベント「MiMiFES」1/26　来場者数（延べ人数）　764 名

共催：MiMiFES 実行委員会、榛東村、榛東村耳飾り館、榛東村商工会

参加店舗：ハンドメイド 16 店舗、キッチンカー３店舗、フード・特産品５店舗

耳飾り館主催ワークショップ（勾玉づくり・土製耳飾りづくり）参加者計　25 名

・ 貸し館業務

油彩画展　4月 20 日～　5月 19 日まで

・ 学校等団体利用：榛東村立北幼稚園（25 名）、榛東村立南小学校（69 名）、ハートサムスポーツクラブ（11名）、二葉養護学校子（19 名）、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館（15　　名）、駒澤大学（9名）、渋川市立渋川西小学校（18 名）、ハピネス渋川教室子（9名）、ハッピーキャンプ渋川教室（13 名）、榛東村楽集センター（26 名）、めだかの学校プラス（5名）、関越交通株式会社（22 名）、那珂川町なす風土記の丘資料館（24 名）、渋川村立橘北小（14 名）、東村山ふるさと歴史館（9名）、玉村学習会（11 名）、宮城県防促協（12 名）、行政相談員渋川北群馬支部（12 名）、埼玉県滑川町老人クラブ連合会（20 名）、伊勢崎市あかねの館福祉作業所（11 名）、榛東村立北小学校3年生（64 名）、前橋市平和町二丁目自治会（16 名）、榛東北部保育園（30 名）、榛東中央こども園（36 名）、榛東村立南小学校3年生（81 名）、榛東南部こども園（32 名）

・ 令和6年度利用者数　4,518 人（令和5年度は　4, 266 人）

⑦ 社会体育事業

1 榛東村スポーツ協会委託事業（各スポーツ専門部の活動）

以下、主な活動。

・ 令和6年度スポーツ協会定期総会及び支部長会議
・ 各専門部主催教室（ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、インディアカ、剣道、スキー）
・ 各スポーツ大会等

期　日	大会名等	主管・運営等
４月１１日	令和６年度スポーツ協会定期総会	スポーツ協会
４月１８日	支部長会議	スポーツ協会
５月４日 ～５月２５日	春季テニス教室（全4日間）	テニス部
５月５日 ～５月２６日	第52回村民野球大会	野球審判部
５月５日 ～５月２６日	剣道教室（全4日間）	剣道部
５月８日 ～５月２９日	バドミントン教室（全4日間）	バドミントン部
５月９日 ～５月２９日	太極拳教室（全4日間）	太極拳部

５月１８日	第37回女子スマイルボウリング大会	スポーツ協会理事会
５月２３日	支部長会議	スポーツ協会
５月２７日	第19回村民グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ部
６月１日 ～６月２２日	ソフトテニス教室（全4日間）	ソフトテニス部
６月２日	第21回村民バドミントン大会	バドミントン部
６月16日	第48回村民バレーボール大会	バレーボール審判部
６月２３日	第49回村民バスケットボール大会	バスケットボール部
６月３０日	第42回村民ソフトテニス大会（個人）	ソフトテニス部
７月４日	支部長会議	スポーツ協会
７月７日	第38回村民ゴルフ大会	ゴルフ部
７月１９日	第14回ラージボール卓球大会	卓球部
７月２１日	令和6年度村民卓球大会	卓球部
７月２１、 ２３日	第42回村民ソフトテニス大会（団体）	ソフトテニス部
７、８月～	郡民大会	各専門部
８月１日	enjoy SHINTO 村づくり祭 スポレク部門運営委員会	スポーツ協会
８月１１日 ～９月１日	第45回村長杯争奪野球大会	野球審判部
８月２０日	支部長会議	スポーツ協会
８月２５日	第19回村民テニス大会（個人戦）	テニス部
８月３１日 ～９月２１日	秋季テニス教室（全4日間）	テニス部
９月１日	第55回婦人バレーボール大会	婦人バレーボール部
９月２６日	enjoy SHINTO 村づくり祭 スポレク部門運営委員会	スポーツ協会
９月２９日	第19回村民テニス大会（団体戦）	テニス部
１０月１７日	支部長会議	スポーツ協会
１０月２７日	第37回スローピッチソフトボール大会	ソフトボール審判部
１１月１０日	enjoy SHINTO 村づくり祭スポレク部門	スポーツ協会理事会
１１月１０日	村民モルック大会	スポーツ協会理事会
１１月１７日	第21回大字対抗野球大会	野球審判部

１２月１日	第57回村民剣道大会	剣道部
１２月１日	第 49回村民サッカー大会	サッカー協会
１月９日	支部長会議	スポーツ協会
２月４日 ～２月２５日	インディアカ教室（全4日間）	インディアカ部
２月８日	村民綱引き大会	スポーツ協会理事会
２月８日	enjoy SHINTO 村づくり祭 スポレク部門運営委員会	スポーツ協会
２月１６日	ファミリースキー教室	スキー部
３月３日	第20回村民インディアカ大会	インディアカ部
３月１３日	令和6年度競技優秀者表彰式	スポーツ協会

2 健康・スポーツ教室等事業報告（教育委員会事務局主管事業）

事 業 名	実 施 日	会 場	参加人数
ボディメイク健康教室	8月8、29日 9月5、12、19日	南部コミュニティセンター	延49人
ふわっとリズムエクササイズ教室	２月６、１３、２０、２７日	南部コミュニティセンター	延55人

3 スポーツ推進委員主管事業

事 業	日 程
第1回スポーツ推進委員会議（年間計画の審議他）	4月9日
スマイルボウリング大会（指導・審判）	5月18日
第2回スポーツ推進委員会議	5月28日
スポーツレクリエーション大会（主管事業①）（子育連と合同開催）	6月15日
第59回群馬県スポーツ推進委員研究大会（桐生市）	7月6日
軽スポーツ交流会（東吾妻町）	7月10日
ニュースポーツ体験研修会（主管事業②）	7月13日
モルック教室（主管事業③）	10月20日
第3回スポーツ推進委員会議	10月31日
enjoy SHINTO 村づくり祭（スポレク部門）	11月10日
村民モルック大会（村づくり祭の中で開催）	11月10日
村民綱引き大会（指導・審判）	2月8日
県外グレードアップ研修会	2月16日
第4回スポーツ推進委員会議（報酬について）	3月25日

4 榛東村スポーツ少年団育成事業

榛東村スポーツ少年団に係る関係機関との連携や活動支援を継続しました。

○ 県登録の状況

単位団:11 単位団(10 種目)

指導者:28 名 (男 26 名、女 2名)(有資格者のみ)

団 員:168 名(男 117 名、女 51 名)

5 しんとうスポーツクラブ事業

○主管事業

事 業 名	実 施 日	会 場	参加人数
開催なし			

○定期プログラム

事 業 名	開催日	開催場所	実施回数
バレーボール	毎週 水曜日	しんとうスポーツアリーナ 榛東中学校講堂	47 回 4回
ペガッソVC	毎週 火・金曜日 第2・4土曜日	しんとうスポーツアリーナ	123 回
バドミントン	毎週 土曜日	しんとうスポーツアリーナ 榛東中学校講堂	26 回 23 回
インディアカ	毎週 月曜日	しんとうスポーツアリーナ 榛東中学校講堂	2 回 50 回

○不定期プログラム

体操教室	指定日 (日曜日)	榛東中学校講堂	10 回
キッズフットサル	指定日 (日曜日)	榛東中学校講堂	12 回
チアダンス	指定日 (土曜日)	南部コミュニティセンター	36 回

6 榛東村各種スポーツ競技大会奨励金

村民のスポーツ振興と関東大会以上のスポーツ競技大会出場者への激励を目的に「榛東村各種スポーツ競技大会奨励金」の交付を行いました。

関東大会出場:29 件(個人交付:29 件、団体交付:0件)

全国大会出場:28 件(個人交付:28 件、団体交付:0件)

7　社会体育施設・学校開放施設利用状況

ア．しんとう総合グラウンド　　（単位：回）

施設名＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
多目的運動場	9	13	11	8	6	10	11	6	5	4	9	15	107
サッカー場	69	72	70	74	85	87	83	70	65	61	57	71	864
テニスコート	77	112	87	115	114	118	119	66	99	100	88	122	1,217
計	155	197	168	197	205	215	213	142	169	165	154	208	2,188

イ．しんとうスポーツアリーナ　　（単位：回）

施設名＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
アリーナ	77	87	75	90	80	70	81	65	59	65	68	90	907
多目的室	43	48	45	57	57	52	49	43	51	40	46	56	587
計	120	135	120	147	137	122	130	108	110	105	114	146	1,494

ウ．地区体育館　　（単位：回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回　　数	32	32	31	35	26	34	44	38	30	29	30	34	395

エ．学校体育施設開放　　（単位：回）

施設名＼月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
北小	校　庭	0	0	0	0	5	3	3	6	4	4	6	5	36
	体 育 館	15	18	30	30	27	28	27	25	21	23	25	17	286
南小	校　庭	3	2	3	2	2	3	2	2	0	0	2	0	21
	体 育 館	12	21	16	17	18	13	16	16	13	20	23	5	190
榛中	体 育 館	33	35	31	38	36	30	40	35	28	33	34	35	408
計		63	76	80	87	88	77	88	84	66	80	90	62	941

令和6年度榛東村教育委員会事務事業評価

評価・・・A:よい　B:概ねよい　C:やや悪い　D:悪い

項目		事業	事業の概要	評価	内部評価・内容等
Ⅰ 学校教育	教育委員会の活動	教育委員会の開催	合議制の執行機関として、その役割と責任を果たすために定例委員会を年間12回開催した。	A	教育に関する課題について、迅速かつ的確に対応した。
	学校教育	学校(園)訪問	教育課程の適切な実施や学習指導、その他学校教育に関する指導助言を行った。	A	定期的に学校(園)を訪問し、学校運営などについて指導助言をした。
		学校施設等整備事業	南小学校長寿命化改修工事	A	南小学校校舎の防水改修、照明LED化、トイレ改修、空調改修、内装改修などの長寿命化工事を行った。
		校園長会議の開催	小中学校長・幼稚園長の会議を年間10回開催。また、必要に応じ随時開催した。	A	教育長の指示伝達、事案の協議、各校からの報告などを行った。
		榛東村教育研究所研究部	以下の研究班を設け、榛東村の教育課題について、研究を推進した。 ・授業改革推進協議会 ・外国語担当対象研修	A	授業改革推進協議会では、昨年度に引き続き、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、各教科・領域の授業実践や授業研究会を通してよりよい授業づくりを進めるとともに、効果的・効率的な研修推進体制構築に向けた実践的な研究を進めた。また、各校で公開授業研究会を開催し、授業改革を推進した。 外国語担当対象研修では、村内の外国語担当教諭を対象に先進校の授業を視察し、授業改善を進めた。
		ぐんぐんスクール ぐんぐん土曜塾 ぐんぐんサマー塾	児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために、教員及び学習支援員等の指導・支援による補充学習を行った。	A	ぐんぐんスクールでは、児童・生徒を対象として夏季休業及び平日放課後に補充学習を行い、488名の児童・生徒が参加した。 ぐんぐん土曜塾では、3～6年の児童及び中学生を対象として土曜日午前(年間13回)に補充学習を行い、延べ93名参加した。 ぐんぐんサマー塾では、3～6年の児童を対象として夏季休業期間中(全10回)に補充学習を行い、延べ74名が参加した。
		人権(同和)教育講演会	講演会を通して、人権(同和)教育に必要な資質・能力の向上を図った。	A	令和6年8月に、「ちょっと気になる子どもたちへの支援の在り方」の演題で、共愛学園前橋国際大学短期大学部教授　上原　篤彦　氏による講演会を行った。
		人権(同和)教育公開授業(保育)研究会	代表校園の授業公開や各校園の実践発表等を通して、各校園の人権(同和)教育の充実及び啓発活動の推進を図る。	B	令和6年11月に、榛東中学校を会場に公開授業を実施した。また、全体会では各校園の人権(同和)教育の取組を実践発表や、少年の主張の発表、共愛学園前橋国際大学短期大学部教授　上原　篤彦　氏による「一人ひとりの子どもたちを大切にすること」を演題とした講演会を行った。
		幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校情報交換会	小学校1年及び中学校1年へのスムーズな就学に関わって情報交換及び協議を行った。	A	令和6年5月に開催。昨年度及び現在の幼児・児童・生徒の様子についての情報交換を行うことにより、各校間でスムーズな移行を図るとともに、今後の連携の足がかりができた。
		幼稚園・保育園・こども園・小学校連携協議会	幼稚園・保育園・こども園・小学校の教職員が公開授業・保育の相互参観や研修会・情報交換を通して、接続期の指導・支援のあり方について協議した。	A	令和6年5月に北小学校、令和6年11月に南幼稚園で開催し、授業や保育の参観、研修会・情報交換を通して、接続期の子どもの見取りについて情報共有するとともに、幼稚園・保育園・こども園・小学校のスムーズな接続について研修を深めた。
		いじめ防止子ども会議	中学校区等の小学生・中学生の代表が、各校の実践発表を行うとともに、いじめをなくすために自分たちでできることを話し合った。	A	令和7年1月に、榛東中学校に参集して開催した。榛東中学校生徒会が中心となり、北小学校と南小学校の児童会をリードしながら協議を進めた。教育委員も協議に参加し、児童生徒と一緒に話し合いを行ったことで、いじめ防止に向けた主体的な取組を一層推進した。
		村立幼稚園の1園化	村立幼稚園の園児数の減少を受け、幼稚園教育の一層の充実を図るために村立幼稚園を統合し、新たな幼稚園を1園開園する。令和6年度末で村立幼稚園(北幼稚園及び南幼稚園)を閉園した。	B	令和6年5月に「榛東村立幼稚園あり方検討委員会」の答申を受け、現在の北幼稚園の園舎を活用し、1園化する方向性が決定した。令和6年7月に保護者説明会を実施、10月から3月までの間に7回、両園の園児が交流する機会や実際に北幼稚園で過ごす機会を設けた。また、令和7年度から開園する幼稚園名が「しんとう幼稚園」に決定した。

	学校給食センター	給食業務	学校給食法の目的及び目標に基づき、幼稚園児、小・中学校の児童生徒及び教職員等への完全給食を実施。 調理・配送業務等を民間委託とし、作業効率の改善を図った。 また、衛生管理を徹底し異物混入の防止及び食中毒の予防に努めた。 栄養士による給食時訪問や家庭科の授業を通じて、食に関する情報を発信した。 また、郷土食や行事食等の献立を提供した。	A	民間委託にて、作業工程表に基づき調理・配送・洗浄作業を実施することにより、作業効率が向上している。異物混入を防止するため、食品の検品や洗浄作業に注意を払い、必要に応じて施設及び調理器具の修繕や買換えを行った。また、食中毒の予防については、調理器具等の洗浄・消毒、調理品の温度管理、調理員の手洗いを徹底。さらに、各種衛生検査を実施し、職員に対して研修を行うことで、衛生管理に関する意識を高めた。 栄養士による給食時訪問や家庭科の授業を通して、食に関する様々な知識や情報を提供した。また、地域の特色を生かした郷土食や、季節の行事に由来した行事食等を献立に取り入れることで、日本の伝統的な食文化を大切にする意識を醸成するとともに職に対する関心を高められるよう努めた。

項　目		事　業	事業の概要	評価	内部評価
Ⅱ 社会教育	生涯学習	社会教育委員会議等	社会教育の充実・振興について情報交換や討議を行う。社会教育委員の職務遂行に必要な知識・技術等を習得するために必要な研修会に参加し、資質の向上に努めた。	A	社会教育委員会議では令和5年度から「生涯学習講座の事業研究」を開始した。令和5年度に実施した視察のまとめや、過去に作成した防災中枢機能施設、榛東村の社会教育委員のホームページ作成に関して協議や意見聴取を行った。 研修会等への参加については、群馬県新任社会教育委員研修会、中部地区社会教育委員研究集会、群馬県社会教育研究大会に参加し、(講演や他の自治体の事例発表を通して)職務遂行に必要な知識・技術等の習得に努めた。
		「村の音楽会」の開催	地域ふれあい「村の音楽会」と題し、陸上自衛隊第12音楽隊、榛東中学校吹奏楽部の演奏による音楽会を令和6年12月1日(日)に開催した。	A	広く村民に生の音楽を味わってもらうとともに、地域住民との交流を図ることを目的として開催した。352名(主催者、来賓者含む)が来場した。「楽しかった」「生の演奏が聴けてよかった」「自衛隊の迫力の演奏、中学生の伸びしろのある演奏とそれぞれの良さがあった」といった声があった。事業を継続することにより、文化的な生涯学習の推進に努めたい。
		家庭教育支援事業	地域住民の学習要求に応え、幅広い分野にわたる学習機会を提供する取組として実施した。 ・しんとうママフェス ママフェス実行委員会と共催でしんとうスポーツアリーナを会場に9月29日(日)に開催した。講演や楽器演奏、手作り品の販売を行った。 ・榛東村家庭教育支援チームによる通園・通学バッグ作り 子育て中のお母さん同士の交流・情報交換の場、仲間作りの場とすることを目的に、新入園・入学用品(通園バッグなど)を製作する会を実施した。	A	しんとうママフェスでは、楽器演奏などのステージ発表やさまざまな手作り品が並ぶ出展ブースに1,300名以上が来場した。 幼稚園のバッグ作りは4月から村内幼稚園に入園する子どもの保護者が通園バッグ作りを通じて交流する場を創出することにつながった。幼稚園だけではなくこども園、保育園、小学校入学用品の製作にも対応した。これらは地域ぐるみでの子育てイベントとして定着し、地域のつながり強化を図る取組として継続していきたい。

		放課後子ども教室	平成27年度から実施し、平成28年度からは、文部科学省・群馬県教育委員会の補助金を受けている。放課後の子どもたちの時間を、地域の協力を得ながら、より豊かな体験の場へと充実させることを目的に実施している。 例年、「放課後活動サポーター」が見守るなか、宿題や昔あそび、工作等を行う活動を通じて地域と児童の交流を図っている。また、学校休業日には村内施設を使用して、放課後活動サポーターの企画による「休日わくわく教室」を実施した。	A	住民から集まった有償ボランティアと共に活動を行っている。 6月からR72月まで、北小学校、南小学校にて放課後の時間に「放課後わくわく教室」を行った。また、休日にも子どもたちが様々な体験活動ができるよう、耳飾り館、南部コミュニティセンター及び児童館を会場に「休日わくわく教室」を実施した。中でも今年度については、太々神楽の保存会によるワークショップを開催し、神楽面の作成や神楽の舞を体験するなど、文化財保護に寄与する活動を行った。今年度も、5名の有償ボランティアが「放課後活動コーディネーター」として活動の中心となって運営した。放課後わくわく教室実施回数32回　参加児童数　北小学校　1、2年生　合計73名　南小学校　1、2年生　合計72名　総計145名休日わくわく教室実施回数4回　参加者数43名
		社会人権教育	憲法や教育基本法の精神と人権教育推進協議会の答申に沿った基本的人権を尊重する平等の原則に基づいて、人間の尊厳性についての自覚を深めながら、人権問題を正しく理解・認識し、人と人との間に存在する「偏見・差別意識」を取り除き、これを解消するため本村の実情に即した施策・計画を策定し、学校教育、社会教育、家庭教育の連携を深め、人権を習慣・文化として日常生活に定着させるよう人権教育を積極的に推進した。 主な活動状況 ・人権教育推進協議会・教育集会所指導事業の充実と人権教育の実践化・啓発活動の推進（広報「ひかり」発行、人権ポスター展示会、人権作文集の発行・人権標語）等。	A	人権教育推進協議会全体会を開催した。全体会後は、3部会（学校人権教育部会、社会人権教育部会、広報部会）が開催され、それぞれの下記の事業計画について、議論し、実施につなげた。 ・学校人権教育部会は、「人権集中学習」「人権集中月間」の期間を設定し、あいさつ、人権作文等の学習を行い、児童、生徒の人権感覚を養い、いじめ・差別の解消の為の意識の高揚に努めた。人権(同和)教育公開授業(保育)研究会については11月21日榛東中学校にて実施した。 ・社会人権教育部会は、夏休み期間中に各自治会の自治会長、青少健会長、育成会長、人権教育推進委員合同により実施していた「人権教育ビデオ視聴会」を開催希望をとり11の自治会で開催した。中央公民館での人権ビデオの貸出しを広報等で周知し、家庭等での活用を呼びかけた。 ・広報部会は、村民一般に対して人権問題解消の啓発として、広報紙を発行（広報「ひかり」、「人権作文集」）。また、人権ポスターの展示を行い、人権尊重の意識の高揚に努めた。 ・人権教育推進委員、集会所運営委員、教職員、行政職員等に研修会に参加していただき、地域での人権問題解消に取り組む為のリーダーの養成を行った。各いずれの部会も、協力し合い熱心に活動していた。本村の人権教育は地域・行政・学校お互いの協力と連携の下、村全体で取り組んでおり、一定の成果を上げているといえる。これからも人権意識を高めるため、時代の流れに即した内容・方法を取り入れながら実践していきたい。
		成人の日の記念行事	榛東村在住の令和6年4月2日から令和7年4月1日に20歳になられる方、及び令和元年度榛東中学校を卒業された方を対象に「榛東村二十歳のお祝い式典」を令和7年1月12日に開催した。	B	成人の日の記念行事対象者の、式典への出席率は52.3%であった。 　新型コロナウイルス感染症が第5類感染症となり、中学校の恩師等来賓も招かれた中、対象者195名中、102名の出席を得られ、厳かに執り行われた。
	社会体育施設	防災中枢機能施設整備事業	災害に強いまちづくりを進めるため、中央公民館（中央コミュニティセンター）と学校給食センターの両方の機能を併せ持つ防災機能を高めた「防災中枢機能施設」を整備するための事業である。	A	防衛省の補助事業である「まちづくり支援事業」として採択され、補助事業を実施した。 令和6年度は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各工事が完了し引渡しを受けた。また、外構工事に着手した。
		社会体育施設整備事業【令和6年度しんとう総合グラウンドテニスコート人工芝補修工事】	しんとう総合グラウンドテニスコートA面の人工芝が摩耗したため、人工芝の張替えを行う事業である。	A	怪我防止等の観点から当該コートの貸出しは行っていなかった（使用できなかった）が、当該事業による補修により貸出しを行える（利用できる）ようになった。

	中央公民館における活動	教室開催	次に掲げる教室を実施した。 ・ウクレレ教室　・リズム体操教室 ・書道教室・バルーンアート教室　・囲碁・将棋教室・夏休みおはなし会	A	幅広いジャンルの教室開催を時期的なことも考慮し実施することで、参加者から好評を得られた。（アンケート調査結果、教室開催継続実施の要望に基づく）
		図書活動	・図書購入 ・お話会実施（夏休みおはなし会）	C	図書室利用者の声を反映させた図書の購入を行うとともに、一般利用者のほか小中学生等の学習の場としても活用された。
	南部コミュニティセンターにおける活動	教室・催事等の開催	○次の各教室を開催した ・和太鼓教室　・おもしろ科学教室 ・クレイアート教室	C	中央公民館図書室と南部コミセンの図書室を併合するため、実習室を廃棄図書の保存場所としたため、実習室を利用した教室を開催することが出来なかった。
		図書活動	・図書購入	B	図書室利用者の声を反映させた図書の購入を行うとともに、小中学生、高校生の学習の場としても活用された。 中央公民館と南部コミセンの図書室を併合するため、7月1日がら中央公民館の図書の整理が始まったため、6年度は読書感想画コンクールを行わなかった。
		図書貸出システムの導	・図書貸出システムを導入した。	B	貸出時の窓口業務が簡素化され、貸出までの時間が短縮された。また、図書の検索などが可能になるだけでなく、図書の導入や管理が容易となった。
	文化財保護	文化財事業（一般）	・郷土芸能保存会への支援 ・榛東村文化財保存事業費補助金の交付	B	・村内7団体の民俗芸能保存団体に対し活動費補助金の交付を行った。 ・神楽・獅子舞保存団体による幼稚園・学校訪問ワークショップのサポートを行った。
		文化財事業（埋蔵）	開発に伴う埋蔵文化財の調査件数届け出件数16件　工事立会実施件数8件	B	開発に伴う埋蔵文化財調査等の対応を行った。開発に伴う問合せは増加しており、随時調整を行っている。
		耳飾り館事業（展示）	・秋季企画展「榛東村長久保古墳群資料展」9月14日～11月30日まで榛東村教育委員会・駒澤大学長久保古墳群活用事業『知ろう！探ろう！古墳時代の榛東村～長久保古墳群の調査を通して～』講演会関連展示 ・冬季企画展「昔の暮らし展」	A	「榛東村長久保古墳群資料展」では駒澤大学との連携事業に併せて本館所蔵の長久保古墳群の資料展示を行った。講演会での報告内容に関連する、円筒埴輪、大刀、柄頭、鉄鏃などの出土品を展示した。来館者へ長久保古墳群の出土品をプリントした缶バッジ配布も実施した。「昔の暮らし展」は小学校4年生の社会科学習にあわせて毎年開催しており、村内で使われていた昭和30年くらいまでの昔の道具を展示した。
	耳飾り館	耳飾り館事業（ロビー展示）	・「縄文土器を触ってみよう」通年	B	ロビーでミニ展示を開催した。土器片や石器の展示は来館者に好評であった。
		その他の催し（イベント・教育普及活動）	・体験学習コーナー（ウッドビーズのアクセサリー、お守りペンダント、勾玉）　参加者数　146名 ・夏休み体験イベント　参加者計52名 ・秋冬の体験イベント　参加者計30名 ・JOMONワークショップ　参加者計31名	B	体験イベントは、小学生を対象に夏休みや休日に開催した。縄文ワークショップは黒曜石で鏃作りを行った。 歴史講座では郷土の歴史についての講演を専門家を招いて実施した。地域住民の興味関心を高められるような運営ができた。

	耳飾り館事業（大学連携）	・講演会にあわせて関連展示「榛東村長久保古墳群　資料展」を耳飾り館特別展示室にて開催した（9/14～11/30） ・講演会「知ろう！探ろう！古墳時代の榛東村～長久保古墳群の調査を通して～」 10月５日開催（会場：南部コミュニティセンター）参加者85名	B	・榛東村教育委員会と駒澤大学による長久保古墳群活用事業として、駒澤大学文学部歴史学科考古学専攻の教授と学生を中心に調査研究を行った。駒澤大学は、駒澤大学令和6年度駒大生社会連携プロジェクトの助成を受けて、本事業を実施し、研究成果をまとめたパンフレット作成や講演会にて発表を行った。 ・講演会には、県内外の学識者や研究者らも聴講し、有意義な発表の場となった。
	耳飾り館事業（他自治体への協力）	第1回行田古墳フェスティバル（主催：行田古墳フェスティバル実行委員会）10月20日　榛東村ブース出展	B	行田市の依頼を受けて参加し、群馬県内からは唯一の出展であった。パンフレット配布、高塚古墳リーフレット、長久保古墳群パンフレット（駒澤大学制作）の配布を行った。クリアファイルの販売、缶バッジの無料配布や縄文時代装身具レプリカ（耳飾り、首飾り、腕輪等）の触れる展示を行い、多くの方にお立ち寄りいただき、榛東村耳飾り館をPRすることができた。

		耳飾り館事業（記念イベント）	開館33周年記念イベント 『MiMiFES』 ・令和7年1月26日　9時から15時 参加無料　来場者数計764名 ・イベント内館主催ワークショップ（まがたま作り・土製耳飾り作り）参加者計25名	B	令和7年に開館33周年を迎えることから記念イベントを、商工会や近隣の手芸作家の協力を得て開催した。キッチンカーや商工会員による販売、手芸作家による販売やワークショップを行い、大盛況で終了した。耳飾り館への興味関心をもつきっかけづくりができたため、今後も継続する方向で検討していきたい。
		耳飾り館事業（ロビーコンサート）	耳飾り館ミュージアムコンサート ・令和7年3月20日　14時から15時 参加無料　参加者34名 ・出演：一般社団法人　カメラータ慈音　小田原由美　真塩裕子　山田知世　小野恵美	B	毎年好評のロビーで開催するコンサートで、例年より参加者数は少なかったものの、美しい弦楽四重奏の響きは来場者から好評であった。
Ⅲ 地域スポーツの振興	榛東村スポーツ協会委託事業報告（各スポーツ専門部の活動）	定期総会	令和6年4月11日に定期総会を開催した。	B	本村の行政区は21あり、その各行政区ごとに体育支部長、理事がいる。回答数過半数以上により、総会は成立した。
		第52回村民野球大会	5／5～5／26開催。	B	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大会の開催数が減少していたが、令和5年度から、多くの大会を開催することができた。準備に調整を要したが、各専門部と細かな協議を行うことで、滞りなく大会を開催することができた。ただ、参加チーム数、参加者数の減少が継続的な課題であり、より多くの村民の方々が参加できるよう、大会の在り方や周知の方法等を検討していく必要がある。今後は、競技や大会の周知を行い、参加者の増加を目指していく。 また、スポ・レク祭の内容を刷新し、enjoy SHINTO村づくり祭スポレク部門として家族や友人同士で気軽に参加出来ることができるニュースポーツの紹介を実施した。 その他、今年度開催予定の教室は全て開催することができたので、今後は、各専門部に対して新たな教室の開催を促していく。
		第37回女子スマイルボーリング大会	5／18開催。		
		第14回ラージボール卓球大会	7／19開催。		
		第21回村民バドミントン大会	6／2開催。		
		第19回村民グラウンド・ゴルフ大会	5／27開催。		
		令和6年度村民卓球大会	7／21開催。		
		第48回村民バレーボール大会	6／16開催。		
		第49回村民バスケットボール大会	6／23開催。		
		第38回村民ゴルフ大会	7／7開催。		
		第42回村民ソフトテニス大会（個人戦）	6／30開催。		
		第42回村民ソフトテニス大会（団体戦）	7／21、23開催。		
		第45回村長杯争奪野球大会	8／11～9／1開催。		
		第55回婦人バレーボール大会	9／1開催。		
		第19回村民テニス大会（個人戦）	8／25開催。		
		第19回村民テニス大会（団体戦）	9／29開催。		
		第37回スローピッチソフトボール大会	10／27開催。		
		しんとう村づくり祭スポ・レク祭	11／10開催。		
		第21回大字対抗野球大会	11／17開催。		
		第57回村民剣道大会	12／1開催。		
		令和6年度村民モルック大会	11/10開催。		
		第49回村民サッカー大会	12／1開催。		
		第32回村民綱引き大会	2／8開催。		
		第20回村民インディアカ大会	3／3開催。		
		令和6年度競技優秀者表彰式	3／13開催。		
		各専門部主催教室	太極拳、剣道、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、インディアカ、スキー教室開催。		

		各種教室の開催	スポーツ振興として以下の教室を企画・開催。 ・ボディメイク健康教室（参加者延べ49人） ・ふわっとリズムエクササイズ教室（参加者延べ55人）	B	ボディメイク健康教室は多くの参加者に好評で、良い健康づくりの場を提供できた。ふわっとリズムエクササイズ教室は、今年度からの新規の教室であり、「誰でも楽しくエクササイズできること」がサブテーマである。参加者には高齢の方や、運動習慣のない方、0歳のお子さんを抱っこしながら参加される方等がおり、幅広い層の参加があった。今年度に実施した、「ボディメイク健康教室」は女性の参加のみでしたが、本教室では男性の参加もあった。昨年度の「脱メタボ教室」の参加者数は延べ33名で、本教室は延べ55名。教室の充実度が毎回の教室の参加者率の高さに現れていた。アンケートや参加者から直接のお話ので本教室について肯定的な意見が多かったため、来年度も継続して実施して良いのでないかと考える。
	健康・スポーツ教室等事業（教育委員会事務局主管事業）	レクリエーションスポーツフェスタ	子育連の事業である「スポーツレクリエーション大会」と合同開催という形で実施。ユニカール、的当て、ラダーゲッターの3種のニュースポーツを参加している児童へ指導した。		本村におけるスポーツ振興方策の検討、スポーツ実施のきっかけの提供（特にスポーツ未実施層）、レクリエーションスポーツの普及・開発、スポーツを通しての住民間・世代間交流等を指標に活動を行った。 子育連と合同で開催したスポーツレクリエーション大会では子どもたちのニュースポーツに積極的に参加する姿が見られ、参加者やスポーツ推進委員自身にも好評だった。来年度からも同じように開催するのが良いと考える。 各研修への出席率が低い傾向にある。令和8年度には全国スポーツ推進委員研究大会が群馬県を会場に開催される予定であり、運営等に榛東村スポーツ推進委員も携わると考えられる。そのため来年度は運営の動きやスポーツ推進委員のあり方を学ぶため、研修等に積極的に参加する必要があると考える。
	スポーツ推進委員主管事業	スポーツ協会主管事業への審判協力	女子スマイルボウリング大会・スポレク祭・モルック大会・綱引き大会の審判員として技術指導を行う。	A	
		スポーツクラブ主管事業への指導協力	令和6年度はノルディックウォーキングの実施はなし。	B	
		各教室の開催	手軽に楽しめる競技を行うことで、スポーツの普及を図る。 以下の教室を開催した。 ・モルック教室（参加者10名、開催）		
		グレードアップ研修	様々なスポーツを体験をすることで、インストラクターの指導技術を学ぶ。	A	
		県登録の状況	単位団：　11単位団（10種目） 指導者：　28名（男26名、女2名） 団　員：168名（男117名、女51名）	A	生涯スポーツの普及、青少年の心身の健全育成を目的に活動しているスポーツ少年団の育成支援を行った。
	榛東村スポーツ少年団育成事業	各教室の開催	総合型スポーツクラブとして以下の教室を開催した。 ・バレーボール（51回実施） ・ペガッソVC（123回実施） ・バドミントン（49回実施） ・インディアカ（52回実施） 不定期プログラム　（チアダンス、キッズフットサル、体操） （開催なし）	A	平成22年に設立した総合型地域スポーツクラブ「しんとうスポーツクラブ」の活動支援を行った。 当該クラブは、低額な会費で様々なスポーツを楽しめることをコンセプトとしているが、会員が固定化しているため、さらなる会員の増加とニーズに応じたプログラムの見直し等の課題が残るとともに、効果的かつ効率的な運営に誘導する必要がある。 しかし、参加者の固定化が見られるため、新しい教室の検討や周知方法の検討をしていく必要がある。
	しんとうスポーツクラブ事業	各教室の開催	総合型スポーツクラブとして以下の教室を開催した。 ・バレーボール（51回実施） ・ペガッソVC（123回実施） ・バドミントン（49回実施） ・インディアカ（52回実施） 不定期プログラム　（チアダンス、キッズフットサル、体操） （開催なし）	A	平成22年に設立した総合型地域スポーツクラブ「しんとうスポーツクラブ」の活動支援を行った。 当該クラブは、低額な会費で様々なスポーツを楽しめることをコンセプトとしているが、会員が固定化しているため、さらなる会員の増加とニーズに応じたプログラムの見直し等の課題が残るとともに、効果的かつ効率的な運営に誘導する必要がある。 しかし、参加者の固定化が見られるため、新しい教室の検討や周知方法の検討をしていく必要がある。

	榛東村各種スポーツ競技大会奨励金	榛東村各種スポーツ競技大会奨励金の交付	村民のスポーツ振興と全国規模のスポーツ競技大会出場者への激励を目的に奨励金を交付した。	B	全国大会等のスポーツ競技会に出場した村民を対象に奨励金の交付を行い、村民スポーツの振興を図り、スポーツ競技者への激励・支援を行った。
	社会体育施設・学校開放施設利用状況	施設貸出業務	・しんとう総合グラウンド 多目的運動場 人工芝サッカー場 テニスコート ・しんとうスポーツアリーナ アリーナ 多目的室 ・地区体育館 ・学校開放施設	A	段階的に行ってきた社会体育施設整備に伴い、施設の充実度は増してきている。しかしながら、施設の老朽化に伴い照明(水銀灯）不点灯箇所の増加や貸出手続等に関する利用者からの意見・要望は各施設毎多種多様であり、改善に向けたさらなる検討が必要である。今後も公共施設長寿命化計画個別計画等により適切な維持管理を行う。 利用回数としては、6年度からアリーナの空調使用が可能となり、社会体育施設（多目的運動場を除く）は各施設とも村内者だけでなく村外者及び県外者の利用が1.2倍に、空調使用に伴い電気料が100万円プラスとはなったが歳入(電気料に対する施設使用料を差引後）についても120万円の増収だった。 日々のこまめな清掃を増やし不要物の処分や全施設の注意・案内等の貼り紙を一新、アリーナの玄関には村民大会等の結果やイベント情報などを掲示して、利用者に気持ちよくご利用頂けるように工夫した。

令和６年度 榛東村教育委員会事務点検・評価報告書の外部評価

はじめに

榛東村教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の規定に基づいて教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、前年度の課題解決に向けた諸事業を計画的に実施されて、大きな成果を上げられております。

令和６年度の榛東村教育委員会事務点検・評価報告書報告書を拝見し、榛東村教育委員会事務事業評価のそれぞれの項目につきまして、以下のように所見及び評価をさせていただきます。

Ⅰ.学校教育等に関する事務事業

①　庶務・学校教育における事業

１．教育委員会の開催

合議制の執行機関として、その役割と責任を果たすために、令和６年度も定例の教育委員会を年１２回開催、それに加えて臨時会を７回も開催し、教育に関する課題について迅速かつ的確に対応されていることを高く評価いたします。

２　学校（園）訪問

毎年、榛東村教育委員会では、定期的に学校（園）を訪問しながら、各学校（園）において教育課程の適切な実施を確認しながら、学校経営に携わる管理職ならびに子どもたちを指導する教師に対して、直接指導・助言を行い、教育の向上に努められていることを高く評価いたします。

この事業により、各学校（園）の学校経営や子供たちに対する指導の課題つかみ、改善に努めることにより、榛東村の教育が一層充実されることと思います。

３　学校施設等整備事業

榛東村の学校施設は他校と比較して、とても良く整備されておりますが、令和６年度は、南小学校の防水改修、照明ＬＥＤ化、トイレ改修、空調改修、内装改修などの長寿命化改修工事を行い、児童がより良い環境で学校生活を送れるよう努めていることを高く評価いたします。

４　校園長会議の開催

令和６年度も小中学校長・幼稚園長の会議を年間１０回、必要に応じて随時開催しながら、教育長の指示伝達や事案の協議を行ったり、各学校（園）からの報告を受けて教育課題の共有に努められていることは、学校間の連携を図る上でもとても大切であり、高く評価いたします。

５　榛東村教育研究所研究部

令和６年度は、榛東村教育研究所研究部内に「授業改革推進協議会」と「外国語担当対象研修」を設置して、「授業改革推進協議会」では、昨年度に引き続き「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、各教科・領域の授業実践や授業研究会を行いながらよりよい授業づくりに努め、効果的・効率的な研修推進体制構築に向けた実践的な研究を進めながら、各校において公開授業研究会を開催して授業改革を推進したことは、教師の指導力の向上となっており高く評価いたします。

また、「外国語担当対象研修」では、村内の外国語担当教諭を対象に先進校の授業を視察するなど、授業改善を進めたことは素晴らしいと思います。

6　ぐんぐんスクール・ぐんぐん土曜塾・ぐんぐんサマー塾

令和６年度、榛東村教育委員会では児童・生徒対象に夏季休業及び平日放課後に「ぐんぐんスクール」と題しての補充学習に延べ４８８名ものが参加かあり、小学校３～６年の児童及び中学生を対象に土曜日午前（年間１３回)、「ぐんぐん土曜塾」と題してのの補充学習に延べ９３名が参加があり、児童生徒の学力向上に成果を上げています。

また、夏期休業中に行った「ぐんぐんサマー塾」には延べ７４名の参加があり、児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着に結びついていることを高く評価いたします。

この素晴らしい事業を今後も一層充実させて児童生徒の学力向上につなげてほしいと思います。

7　人権（同和）教育講演会

榛東村教育委員会では人権に関する公開授業や教育講演会を毎年、教職員の悉皆研修として行い、子どもたちを指導する教職員の人権（同和）教育に必要な知識や技能・資質の向上を図っていることは素晴らしいと思います。

今年度は、令和６年８月に、「ちょっと気になる子どもたちへの支援の在り方」の演題で、共愛学園前橋国際大学短期大学部教授である上原篤彦氏を招いて講演会を行い、人権意識の向上に努めたことを高く評価いたします。

8　人権（同和）教育公開授業（保育）研究会

毎年、榛東村教育委員会では、村内の幼稚園、小学校、中学校の中から研究校を指定して、人権に関わる授業公開や実践発表を行っていますが、今年度は、令和６年１１月に、榛東中学校を会場に公開授業を実施し、人権教育の充実や啓発活動の推進を図り、教職員の指導力および、人権意識の向上に努めたことは素晴らしいと思います。

また、全体会では各校園の人権（同和）教育の取組を実践発表や少年の主張の発表に加えて、共愛学園前橋国際大学短期大学部教授である上原篤彦氏による「一人ひとりの子どもたちを大切にすること」を演題とした講演会を開催し、教職員の資質・能力の向上に努められたことを高く評価いたします。

9　幼稚園・保育園・こども園・小学校及び小学校・中学校情報交換会

令和６年５月にこの情報交換会を開催して、小学校１年生及び中学校１年生の児童生徒にかかわる諸課題や支援方法について話し合い、入学時において校種間のスムーズな移行が図れるように努められていることは、入学後の各校園連携の足がかりとなり、この事業を高く評価いたします。

10　幼稚園・保育園・こども園・小学校連携協議会

幼稚園・保育園・こども園・小学校の教職員が、公開授業・保育の相互参観や研修会・情報交換を通して、接続期の指導・支援のあり方について協議し、相互理解と連携強化をを図ったことは素晴らしいと思います。

また、令和６年度は、令和６年５月に北小学校、令和６年１１月に南幼稚園で開催し、授業や保育の参観や、研修会・情報交換を通して、接続期の子どもの見取りについて情報共有するとともに、幼稚園・保育園・こども園・小学校のスムーズな接続について研修を深めたことを高く評価いたします。

11　いじめ防止子ども会議

榛東中学校生徒会が中心となり、小学校の児童会をリードしながら、子どもたち自身でいじめをなくすために自分たちでできることを話し合うこの事業は、榛東村独自の素晴らしい事業であると考えます。

令和６年度は、令和７年１月に榛東中学校に参集して開催され、教育委員も協議に参加し、児童生徒と一緒に話し合いを行ったことで、いじめ防止に向けた主体的な取組を一層推進されたことを高く評価いたします。

12 村立幼稚園の1園化

令和６年５月に「榛東村立幼稚園あり方検討委員会」の答申を受け、村立幼稚園の園児数の減少を受け、令和６年度末で北幼稚園及び南幼稚園を閉園し、令和７年度から「しんとう幼稚園」を開園することが決定したことは、子供たちの数が減少傾向にある時代の流れに即したことでもあり、これにより榛東村の幼稚園教育の一層の充実が図られることと思われます。

② 学校給食センターにおける事業

1 給食業務

榛東村では、学校給食法の目的及び目標に基づいて幼稚園児、小・中学校児童生徒及び教職員に完全給食を実施しており、調理・配送業務等を民間委託として、作業効率の改善に努めています。

異物混入の防止をするため、食品の検品・洗浄作業に注意を払ったり、施設及び調理器具の総点検を実施し、必要に応じて修繕・買換えを行ったり、食中毒を防止するため、調理器具等の洗浄・消毒、調理品の温度管理、調理員の手洗いを徹底や各種衛生検査を実施するなど、職員に対して研修を行うことで衛生管理についての意識を高めていることを高く評価いたします。

また、栄養士による給食時訪問や家庭科の授業を通じて、食に関する情報を発信したり、地域の特色を生かした郷土食や行事食等を献立に取り入れたりすることで、日本の伝統的な食文化に対し理解を深められるよう努めていることは素晴らしいと思います。

Ⅱ.社会教育に関する事務事業

③ 生涯学習における事業

1 社会教育委員会議等

榛東村社会教育委員会議では、令和５年度に実施した視察のまとめや、過去に作成した防災中枢機能施設、榛東村の社会教育委員のホームページ作成に関して協議や意見聴取を行い、社会教育の充実・振興につとめられていることは素晴らしいと思います。

また、群馬県新任社会教育委員研修会、中部地区社会教育委員研究集会及び群馬県社会教育研究大会への参加、講演や他の自治体の事例発表を通して職務遂行に必要な知識・技術等の習得や資質の向上に努めたことを高く評価いたします。

2 村の音楽会の開催

地域ふれあい「村の音楽会」と題した、陸上自衛隊第１２音楽隊と榛東中学校吹奏楽部の演奏による音楽会は、毎年多くの村民が参加して、子どもから高齢者まで楽しめる事業となっています。

令和６年度は令和６年１２月１日(日) に３５０名を超える参加者のもと、盛大に開催され、参加者から「楽しかった」「生の演奏が聴けてよかった」「自衛隊の迫力の演奏、中学生の伸びしろのある演奏とそれぞれの良さがあった」などの声も聞かれて、とても素晴らしい事業となり良かったと思います。

3 家庭教育支援事業

地域住民の学習要求に応え、幅広い分野にわたる学習機会を提供する取り組みとして「しんとうママフェス」を令和６年９月２９日(日)に住民生活課(榛東村環境美化推進協議会)主催のエコフェスタと同時開催し、楽器演奏、手作り品の販売など親子で楽しめる内容を工夫したり、「通園・通学バッグ作り」では子育て中のお母さん同士の交流・情報交換の場、仲間作りの場となったことは素晴らしと事業だと思います。

今後も、地域ぐるみの子育てイベントであるこの事業を継続させて、地域のつながりの強化を図っていただきたいと思います。

4　放課後子ども教室（学校・家庭・地域連携協力推進事業）

平成２７年度から、放課後の子どもたちの時間をより豊かな体験の場となることを目的で実施しているこの事業は、文部科学省・群馬県教育委員会の補助金を受け、年を重ねるごとに充実してきています。

北小学校と南小学校で放課後の時間に「放課後わくわく教室」を行ったり、休日にも子どもたちが様々な体験活動ができるよう、耳飾り館や、南部コミュニティセンター、及び児童館を会場に「休日わくわく教室」を実施するなど、子供たちに豊かな体験をさせたことを高く評価いたします。

5　社会人権教育

榛東村では憲法や教育基本法にある基本的人権を尊重する精神に基づき、人権問題を正しく理解・認識することに、村全体で真剣に取り組んでいます。

令和６年度は人権教育推進協議会全体会を開催し、全体会の後に３部会（学校人権教育部会・社会人権教育部会・広報部会）が開かれ、学校人権教育部会では、「人権集中学習」「人権集中月間」の期間を設定し、あいさつ、人権作文等の学習を行い、児童、生徒の人権感覚を養い、いじめ・差別の解消の為の意識の高揚に努め、１１月２１日に榛東中学校にて人権(同和)教育公開授業(保育)研究会を実施、社会人権教育部会では、夏休み期間中に各自治会の自治会長、青少健会長、育成会長、人権教育推進委員合同により「人権教育ビデオ視聴会」を開催、広報部会では、村民一般に対して人権問題解消の啓発として、広報紙を発行（広報「ひかり」、「人権作文集」）や人権ポスターの展示を行い、人権尊重の意識の高揚に努めたことを高く評価いたします。

これからも人権意識を高めるため、この活動を充実させてほしいと思います。

6　成人の日の記念行事

榛東村在住の令和６年４月２日から令和７年４月１日に２０歳になる方及び令和元年度に榛東中学校を卒業した方を対象に「榛東村二十歳のお祝い式典」を令和７年１月１２日に、当時の中学校の恩師等来賓も招いて開催され、多くの参加者があり楽しい時間を過ごせてことはとても良かったと思います。

今後とも行事の内容に検討を加え、新成人となった若者にとって、心に残る行事となることを期待しています。

7　防災中枢機能施設整備事業

災害に強いまちづくりを進めるため、中央公民館（中央コミュニティセンター）と学校給食センターの両方の機能を併せ持つ、「防災中枢機能施設」を整備するための事業を、防衛省「まちづくり支援事業」として、令和６年度は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各工事が完了して外構工事に着手したなど施設整備に努めたことを高く評価いたします。

8　社会体育施設整備事業【しんとう総合グラウンドテニスコート人工芝補修工事】

令和６年度は、しんとう総合グラウンドテニスコートＡ面の人工芝が摩耗したため、人工芝の張替えを行ったことでコートの貸し出しができるようになり、利用者にとってとても良かったと思います。

④ 中央公民館における事業

1 教室の開催

地域住民の学習ニーズに応え、令和６年度はウクレレ教室・リズム体操教室・実践書道教室・バルーンアート教室・囲碁・将棋教室などが開催され、住民に学習の機会を与えながら、住民間の交流が図られたことはとても良かったと思います。

2 図書活動

図書室利用者の声を反映させた図書の購入に努め、一般利用者や小中学生等の学習の場としても活用されたことは良かったと思います。

また、夏休みおはなし会を開くなど、多くの人々の学習の場となったことは素晴らしいと思います。

⑤ 南部コミュニティセンターにおける事業

1 教室・催事等の開催

今年度は、地域住民の学習ニーズに応え、和太鼓教室・クレイアート教室・おもしろ科学教室といった教室が開き、住民に学習の機会を与えながら住民間の交流が図ったことはとても良かったと思います。

2 図書活動

図書室利用者の声を反映させた図書の購入に努め、２０００人を超える利用者が会ったことはとても良かったと思います。

3 図書貸出システム導入活動

図書貸出システムの導入により、貸出時の窓口業務が簡素化されて貸出までの時間が短縮されたり、図書の導入や管理が容易になったことでことで、利用者がさらに増えることを期待しています。

⑥ 文化財・耳飾り館における事業

1 文化財事業（一般）

令和６年度は、村内の民俗芸能保存団体７団体に対して、活動費補助金の交付を行い、村の大切な文化財の保護に努め、歴史文化に対する村民の意識の高揚を図ったことはとても良かったと思います。

2 文化財事業（埋蔵）

令和６年度は、開発に伴う埋蔵文化財調査を行ったり、文化財保護法に基づいた指導・調整を行い、文化財の保護や文化財に対する村民の意識を高めたことはとても良かったと思います。

3 耳飾り館事業

令和６年度は、秋季企画展「榛東村長久保古墳群資料展」・冬季企画展「昔の暮らし展」・ロビー展示「縄文土器を触ってみよう」を展示事業として実施したり、体験学習コーナーでは、ウッドビーズのアクセサリー、お守りペンダント、勾玉、土製耳飾りを開催し、多くの参加者があったことはとても良かったと思います。

これからも、村の文化財に関心を持ってただけるようないろいろな事業を開催されることを期待しています。

⑦　社会体育活動

1　榛東村スポーツ協会委託事業（各スポーツ専門部の活動）

榛東村にある「しんとう総合グラウンド」や「しんとうスポーツアリーナ」等の充実した施設を活用して、村民がスポーツ活動を行っており、令和６年度はスポーツ協会定期総会や支部長会の開催、各専門部主催の教室が開催され、榛東村のスポーツの振興が図られたことはたことは良かったと思います。

今後も榛東村の充実した施設を活用され、村民のスポーツの振興にこの事業が大いに役立つことを期待しております。

2　健康・スポーツ教室等事業報告（教育委員会事務局主管事業）

令和６年度は、南部コミュニティセンターを海上にボディメイク健康教室やふわっとリズムエクササイズ教室が数回開催され、それぞれに述べ５０名ほどの参加者があったことは、とても良かったと思います。

3　スポーツ推進委員主管事業

榛東村のスポーツ振興を図る目的のスポーツ推進委員主管事業として、例年多くの事業が行われていますが、令和６年度は、スマイルボーリング大会やスポーツレクリエーション大会などが開催され、スポーツの振興につながったことはとても良かったと思います。

4　榛東村スポーツ少年団育成事業

令和６年度は、１１単位団（１０種目）がスポーツ少年団に県登録されており、生涯スポーツの普及やスポーツを通して青少年の健全育成が図られていることは素晴らしいと思います。

今後は、会員の増加とニーズに応じたプログラムの見直しを図り、この事業が一層充実されることを期待しています。

5　しんとうスポーツクラブ事業

平成２２年に設立した「しんとうスポーツクラブ」は、総合型スポーツクラブとして、バレーボール、バドミントン、インディアカ、ペガッソ・チアダンス、キッズフットサル、体操などの各教室を開催し、スポーツの振興に努めてたことはとても良かったと思います。

6　榛東村各種スポーツ競技大会奨励金

全国規模のスポーツ競技大会出場者への激励を目的に「榛東村各種スポーツ競技大会奨励金」の交付を毎年行っているこの事業は、村民のスポーツ振興に結びつくとても良い事業であると思います。

令和６年度は、関東大会出場が２９件、全国大会出場が２８件という素晴らしい成績が出たことはとても良かったと思います。

7　社会体育施設・学校開放施設利用状況

榛東村にあるしんとう総合グラウンドやしんとうスポーツアリーナ、人工芝サッカー場などの社会体育施設を、毎年段階的に整備して施設の充実に努めており、多くの利用者がいることは村のスポーツ振興につながり、とても素晴らしいと思います。

今後は、これらの施設の適切な維持管理に努めて、村民のスポーツ振興に役立てていただきたいと思います。

おわりに（総評）

令和６年度は、新型コロナの影響も落ち着いて多くの事業が、再び行われるようになリましたが、まだ完全に終息したとは言えない状況にあり、教育委員会が学校教育や社会教育をどのように推進していくか、たいへん難しい場面も多々あったことと拝察いたします。

今回、榛東村教育委員会事務点検・評価報告書を拝見いたしましたが、そのような社会状況の中にあり、事業の成果が向上するように様々な工夫を凝らして取り組んでいる姿勢が随所に見られました。

学校教育等に関する事務事業では、教育委員会が各学校（園）の教育が適切に行われているかを、直接訪問して点検したり、指導方針の伝達に努め、校園長会議を定期的に開催して、各学校（園）の連携や課題の共有に努め、村が一つとなった教育が推進されていることが伺えます。

中でも、教育研究所や幼・保・小・中の連携を考えた事業に加え、ぐんぐんスクール・ぐんぐん土曜塾・ぐんぐんサマー塾等の榛東村独自の事業により、教職員の指導力向上ならびに子どもたちの基礎的な学力の向上に真剣に取り組んでいることはとても素晴らしいと思います。

また、榛東村の教育の大切な柱となっている人権教育では、講演会や研修会により、教職員の人権（同和）教育を推進していく上で必要な知識や技能・資質の向上を図ったり、小・中学校の児童生徒自身でいじめ問題を考える事業を行うなど、教育委員会のリーダーシップのもと、人権問題の解決に努力している姿勢が数多く伺えました。

さらに、学校施設の改善や給食業務の充実により、子どもたちが安全で安心した生活を送れるように取り組んでいることはとても素晴らしいと思います。

社会教育に関する事務事業においても、未だにコロナが終息していない中にあり、感染の防止対策を講じながら、「村の音楽会」の開催や「家庭教育支援事業」「放課後子ども教室」「社会人権教育」、「成人の日の記念行事」などの事業を通して、村民の心に潤いを与えながら、文化の向上や村民相互の親睦を図り、参加者から高い評価を得るなど、それぞれに大きな成果を上げられたことを高く評価したいと思います。

令和６年度は、数多くの事業が再開となり、榛東村教育委員会でも、その事業内容の改善や運営には、たいへん努力されたことと思います。そしてそれぞれに素晴らしい成果を上げられたことに敬意を表します。

地域スポーツの振興においても、とても恵まれた榛東村のスポーツ施設の整備に努め、有効に活用した事業が行われて、スポーツの振興が一層推進されているとように見受けられます。

今後とも、この充実した村のスポーツ施設の適切な維持管理に努めて、スポーツを通して村民のスポーツ文化がより向上されることを期待しております。

以上、教育委員会が執行しました事業につきまして、「事務点検・評価報告書」の内部評価表に基づき評価させていただきましたが、総合的にとても良好であると高く評価いたします。

教育に対して素晴らしい識見のある教育長の指導の下に、榛東村の教育が一段と向上することと思います。

これからも村民のためによりよい教育行政が推進されますように、教育委員並びに教育委員会事務局、関係各位のご活躍と榛東村のますますのご発展をご祈念申し上げまして外部評価とさせていただきます。

令和７年８月１０日

共愛学園前橋国際大学短期大学部非常勤講師
ＮＩＰＰＯＮおもてなし専門学校非常勤講師
竹内　利文